

⑦ 3.出来形及び出来ばえ II.品質	工種 舗装工事	a	a'	b	b'	c	d
		<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
		<p>【評価対象項目】 [路床工・路盤工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 設計図書に定められた試験方法で CBR 値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 路盤の安定処理は、材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 路床盛土及び路盤工において、設計図書に定められた一層の仕上がり厚さを満足し、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. その他（理由） <p>[アスファルト舗装工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 9. アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. プラント出荷時、現場到着時、舗設時毎に、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 各層の継ぎ目の位置が、設計図書の仕様に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. その他（理由） <p>[アスファルト舗装補修工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 18. 施工に先立ち、現地を調査し、現況縦横断勾配の修正及び基準高等について、協議していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 舗装工の施工に先立ち、切削後の表面の有害物等を除去し清掃していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 切削後の舗装面のクラックが適正に補修されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 路上再生工の施工にあたって、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. その他（理由） <p>[コンクリート舗装工関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 23. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. 曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 					

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（％）計算の値で評価する。
 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ）
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

3.出来形及び出来ばえ
II.品質

舗装工事

- 27. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
- 28. 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。
- 29. チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。
- 30. 金網の施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 31. その他(理由)

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。